

空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965

空気
と
水
の
テ
ク
ノ
ロ
ジ
ー

株主通信 vol.41 RYOWA REPORT

第72期

中間期 業績のご報告

2020年4月1日～2020年9月30日

- ① ごあいさつ／トップインタビュー
- ④ 施工実績
- ⑤ テクノ菱和の技術の紹介
- ⑥ テクノ菱和のCSR
- ⑦ 連結財務情報
- ⑨ 会社概要／株式の状況



はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患されたみなさまと、感染拡大により生活に影響を受けているみなさまに心からお見舞いを申し上げますとともに、感染拡大防止にご尽力されているみなさまに深く感謝申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第72期（2020年4月1日から2021年3月31日）の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda

経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。

環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。

人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

逞しい心身の鍛錬

意志疎通の徹底

技術力の研鑽

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境は
いかがでしたか？

A 当中間期におけるわが国経済は、期初の新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動の停滞を受け、景気は一時的に大きく落ち込む状況となりました。その後は持ち直しの動きも見られるものの、コロナ禍以前の水準への回復には至らず、先行き不透明な状況が続きました。

建設業界におきましては、公共投資は、政府の経済対策による増加が見込まれるものの、民間設備投資は、感染拡大による企業の慎重姿勢を受けて需要の減少は避けられず、厳しい状況が続きました。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期連結業績は受注高25,490百万円、売上高24,445百万円、営業利益396百万円、経常利益613百万円、中間純利益400百万円となりました。

当中間期の受注高は、新型コロナウイルス感染拡大による大幅な景気後退を背景に、企業の設備投資需要が低調に推移したことから、産業設備工事、一般ビル設備工事ともに受注量が減少し、前年同期を下回る結果となりました。売上高および利益につきましても、前年度からの繰越工事の減少や当中間期における受注高の減少を受けて、前年同期に比べ減収減益となりました。

中間期の業績	当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)
受注高	25,490	35,530
売上高	24,445	29,674
営業利益	396	1,739
経常利益	613	1,844
中間純利益	400	1,214

(注) 本報告書において、中間(当期)純利益は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を指します。



Q 上半期の取り組みについて教えてください。

A 当期は、これまで当社が培ってきた特色ある技術を駆使した事業展開を目指し、品質の高い仕事を継続して提供することで、ひろくお客様から信頼される企業であり続けることを目標として「品質へのこだわりが信頼の原点」をスローガンに掲げました。このスローガンのもと、食品・医薬品関連、電子デバイス関連をはじめとする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進してまいりました。

当中間期におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、さまざまな制約を受けたものの、テレワークや交代勤務を実施し、感染拡大防止に努めながら事業活動を継続してまいりました。また、テレビ会議システムやメール等を活用し、取引先と非対面での打合せを行う等、新たな試みを取り入れながら営業活動を推進してまいりました。

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 下半期につきましては、緊急事態宣言の解除に伴う経済活動の再開を受け、景気は既に最悪期を脱したものの、感染再拡大への懸念が重石となり、コロナ禍以前の水準への回復には相当な期間を要するものと思われます。

建設業界におきましても、企業の情報化投資や研究開発投資などが見込まれるものの、事業環境の先行き不透明感が強いことから、設備投資需要の低迷は避けられず、厳しい環境が続くことが予想されます。

当期の連結業績見通しにつきましては、売上高57,900百万円、営業利益1,770百万円、経常利益2,000百万円、当期純利益1,260百万円の見込みとしております。

当期の見通し	当期末予想 (百万円)	前期末実績 (百万円)
売上高	57,900	60,926
営業利益	1,770	4,263
経常利益	2,000	4,505
当期純利益	1,260	2,927

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 新型コロナウイルス感染症の収束時期が依然として見通せないなか、これからは経済活動の維持と感染拡大抑制の両立を図っていかねばなりません。こうした状況下でテレワークをはじめとする新しいビジネス様式も普及しつつあり、コロナ収束後も少しずつ定着していくものと思われます。当社グループといたしましても、引き続き感染防止策の徹底に努めるとともに、新しいビジネス様式への対応と働き方改革の推進により、生産性の向上に取り組んでまいります。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき12円をお支払いすることとし、年間では期末配当金16円を加えた1株につき28円とさせていただき予定しております。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

三菱ガス化学株式会社 新潟研究所N-SEQ棟



本物件は、化学品や触媒関係、バイオ製品の研究開発や、隣接する工場で製造された製品の品質管理・分析等を目的として建設された総合研究棟であります。空調設備はモジュールチラーおよびパッケージエアコンを採用し、個別空調が可能なシステムとしております。また、研究室・実験室は負圧に管理されており、ドラフトチャンパー停止時には外気導入量を減少させる制御として、省エネを図っております。

概要	
完成年月	2020年7月
施工地	新潟県新潟市
建物用途	研究所
延床面積	5,668.12㎡
物件形態	地上4階
工事範囲	空調・衛生・ユーティリティ設備工事

水戸法務総合庁舎



本物件は、自然景観の保全地区として指定された「三の丸風致地区」に建設された総合庁舎であり、当地区の歴史的資源と調和した景観の保全を図るため、建物外装の色味や素材感に配慮しております。空調機は潜熱分離型空調機により潜熱と顕熱を分離して負荷を効率よく処理する方式を採用し、VAV制御にて各部屋の温湿度管理を行っております。

概要	
完成年月	2020年8月
施工地	茨城県水戸市
建物用途	総合庁舎
延床面積	15,189.23㎡
物件形態	地下1階、地上6階
工事範囲	空調・衛生・消火設備工事

池田市立学校給食センター



本物件は、安全・安心な学校給食の提供はもとより、食育の推進と地域防災の役割も担い、また環境負荷低減にも配慮した施設として整備されました。空調設備としては、外気処理パッケージエアコン、ファンフィルターユニット、ビル用マルチエアコン等で構成されており、焼物・揚物室系統の排気には光触媒脱臭装置を設置して、臭気対策を図っております。

概要	
完成年月	2020年5月
施工地	大阪府池田市
建物用途	学校給食センター
延床面積	4,862.90㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生設備工事

株式会社ヤヨイサンフーズ 気仙沼工場



本物件は、2011年の東日本大震災で被災した同社旧気仙沼工場から移転・新設された冷凍食品工場であり、水産加工品や水産カツ、介護食品などの生産を行います。食品工場で重要となるカビや錆の発生を抑えるため、天井内各所への除湿器の設置や、ダクト・配管材にSUS製を採用する等の対策を行っております。また、冷蔵・冷凍設備には、二酸化炭素を冷媒に用いた自然冷媒機器を採用し、環境負荷の低減を図っております。

概要	
完成年月	2020年6月
施工地	宮城県気仙沼市
建物用途	食品工場
延床面積	12,019.42㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生設備工事



テクノ菱和の技術の紹介

私たちテクノ菱和は、設計、施工、メンテナンスから運用、コンサルティングまで最適なサービスをワンストップで提供する「ライフサイクル一環ソリューションビジネス」を展開しております。今回はそのなかでも重要なキーワードとなる「中央監視」と関連技術「TECBEAMS lite」についてご紹介いたします。

中央監視とは??

中央監視とは、建物内に多数ある空調、衛生設備などの各種設備を効率的に監視・制御するために、制御装置やセンサーから離れた中央監視室などから集中的に運転状況の監視や操作を行うことを指します。情報を集約して「見える化」することは省力化や省エネルギー化、品質向上に欠かせないものとなっています。

TECBEAMS liteについて

TECBEAMS lite

当社では、1996年より中央監視システム「TECBEAMS」をご提供しておりますが、小規模物件においても、省力化や製造環境におけるさらなる品質向上をご提供していくため、低コストで、コストパフォーマンスに優れた本システムを開発しました。

主な機能

監視機能…状態監視、警報監視、状態不一致監視、計測値上下限監視

操作機能…個別発停・グループ発停操作、設定値変更操作

制御機能…スケジュール制御、火災制御、復電制御

表示機能…アナンシエータ表示、アラームサマリー表示、トレンドグラフ表示、検針表示、
デマンドグラフ表示、アラーム・イベント履歴表示



テクノ菱和のCSR



基本的な考え方

- ・テクノ菱和は、社会の一員として空気調和衛生設備の設計、施工管理、保守メンテナンス、研究開発といった事業活動を通して持続可能な社会の実現に向けて行動していきます。
- ・その事業活動は、取引先、地域社会、株主、従業員等のステークホルダーとの関係から成り立っています。
- ・当社が目指している「CSR」は、すべての事業活動を通じてステークホルダーのみなさまに対して、価値を創出し信頼を獲得していくことで、社会全体と共に持続的に成長していくことにあります。

CSRの実践領域については、以下の3点を念頭に活動します。

- 1 継続的なCSR活動により、長期的な企業価値を高めていきます。
- 2 CSRの実践領域を通じて、ESG（環境・社会・企業統治）経営を推進していきます。
- 3 国連が定めた持続可能な開発目標・SDGsの達成に向けて、CSR活動を通じて貢献していきます。

CSR 当社のCSR活動やESGへの取り組みは、ホームページで詳しくご紹介しています。

<https://www.techno-ryowa.co.jp/csr/>



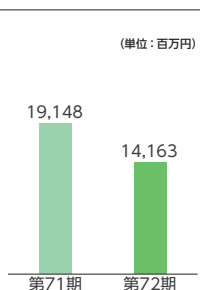
受注高 25,490 百万円 < 前年同期比 28.3%減 >	売上高 24,445 百万円 < 前年同期比 17.6%減 >	経常利益 613 百万円 < 前年同期比 66.7%減 >	中間純利益 400 百万円 < 前年同期比 67.1%減 >
---	---	---	--

受注高構成比
(総受注高に対する割合を示しています。)

産業設備工事

55.6% 14,163百万円

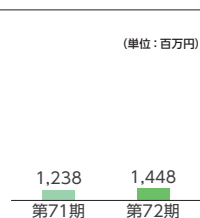
当中間期は、新型コロナウイルス感染拡大により、企業が設備投資への慎重姿勢を強めたことから、前年同期に比べ受注量は減少いたしました。今後も当社の得意とする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、ライフサイクル貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。



電気設備工事

5.7% 1,448百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

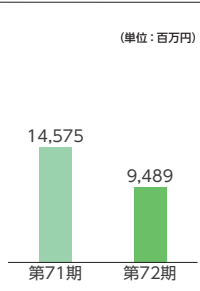
1.5% 389百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

一般ビル設備工事

37.2% 9,489百万円

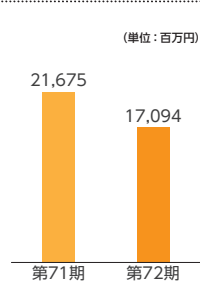
当中間期は、官庁工事については前年同期並みの受注量を確保したものの、全体としては前年同期を下回る結果となりました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し、受注量の確保に努めてまいります。



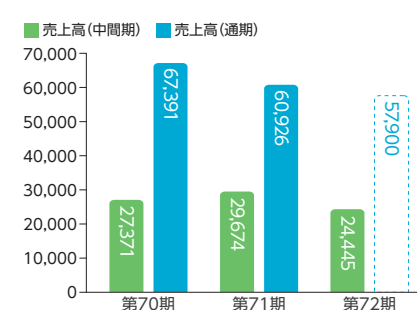
設備改善工事

67.1% 17,094百万円

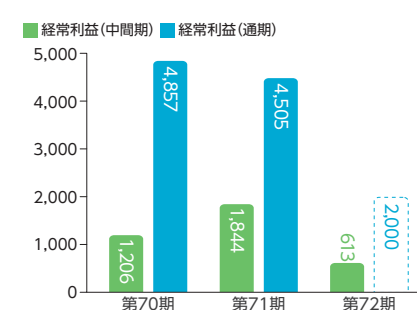
施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



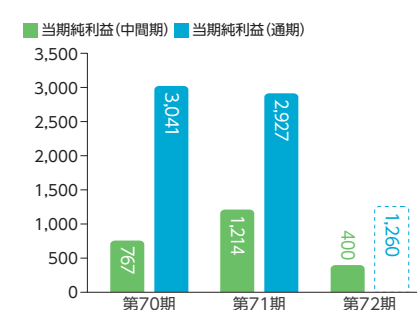
売上高の推移



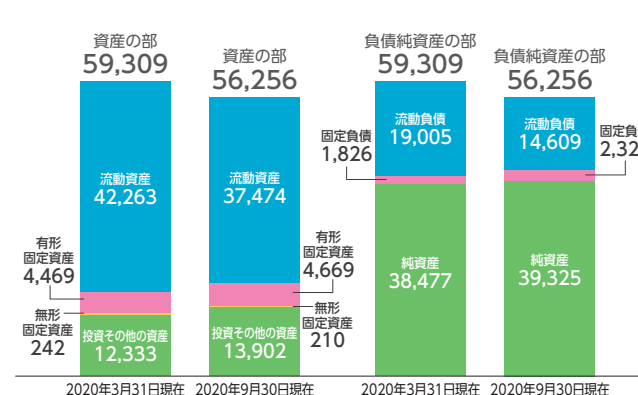
経常利益の推移



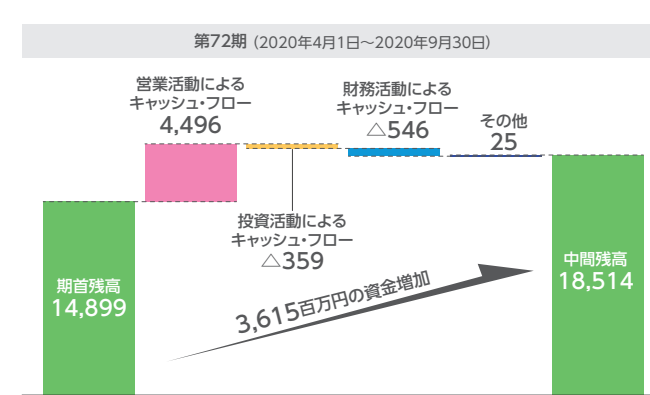
当期純利益の推移



貸借対照表の概要



キャッシュ・フローのポイント



財務のポイント

資産の部 流動資産における現金及び預金の増加37億円、受取手形・完成工事未収入金等の減少82億円、固定資産における投資有価証券の増加14億円を主な変動要因として、前期末と比較して30億円減少し、562億円となりました。	負債の部 流動負債における支払手形・工事未払金等の減少20億円、電子記録債務の減少9億円、固定負債における繰延税金負債の増加5億円を主な変動要因として、前期末と比較して39億円減少し、169億円となりました。	純資産の部 その他有価証券評価差額金の増加9億円を主な変動要因として、前期末から8億円増加し、393億円となりました。自己資本比率は前期末と比較して5.0ポイント上昇し、69.9%となりました。	キャッシュ・フロー 売上債権の減少による資金増加88億円、仕入債務の減少による資金減少29億円、未成工事受入金の減少による資金減少8億円を主な変動要因として、現金及び現金同等物は前期末と比較して36億円増加し、185億円となりました。
---	--	---	---

詳しい情報はウェブサイトへ

テクノ菱和 検索

会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)

設立 1949年12月23日

資本金 2,746,800,000円

上場 東京証券取引所市場第二部

従業員 740名 (連結863名)

本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

登記上の所在地 東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容 当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
- 太陽光発電事業
- 一般ビル設備関連事業
- 不動産賃貸事業
- 電気設備工事業
- 保険代理事業
- 冷熱機器販売事業
- 建設資材製造販売業

主な事業所

技術開発研究所(神奈川県横浜市)	名古屋支店(愛知県名古屋市)
東京本店(東京都豊島区)	静岡支店(静岡県静岡市)
千葉支店(千葉県千葉市)	大阪支店(大阪府大阪市)
茨城支店(茨城県土浦市)	中国支店(岡山県倉敷市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)	九州支店(福岡県福岡市)
東北支店(宮城県仙台市)	海外事業部(東京都豊島区)
横浜支店(神奈川県横浜市)	

役員 (2020年9月30日現在)

取締役

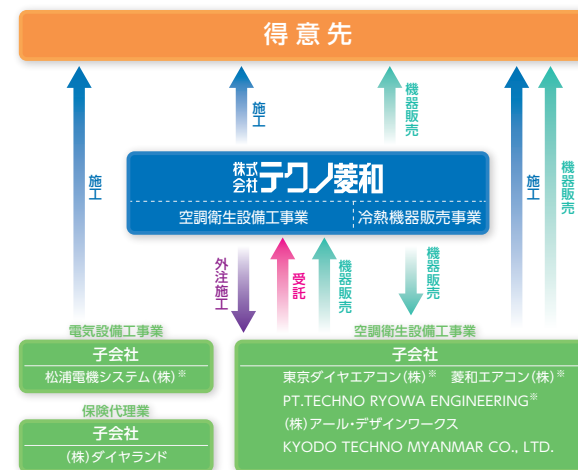
代表取締役	黒田 英彦
取締役	星野 宏一
取締役	鈴木 孝孝
取締役	加藤 雅也
取締役(社外)	武田 公温
取締役常勤監査等委員	雑賀 純二
取締役監査等委員(社外)	本間 正広
取締役監査等委員(社外)	小坂井 千春

執行役員

社長執行役員	黒田 英彦
専務執行役員	星野 宏一
常務執行役員	鈴木 孝孝
上席執行役員	黒田 長憲
上席執行役員	窪 和敏
上席執行役員	加藤 雅也
上席執行役員	福士 富三
上席執行役員	大石 勉
執行役員	鈴木 俊夫
執行役員	袴田 一博
執行役員	齋藤 吉信
執行役員	伊豆丸 暢也
執行役員	富山 潤也
執行役員	堀 下 浩

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイアエアコン株式会社* 所在地 東京都新宿区 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	株式会社アール・デザインワークス 所在地 大阪府大阪市 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社* 所在地 愛知県名古屋市 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	株式会社ダイヤモンド 所在地 東京都港区 主要な事業の内容 保険代理業
松浦電機システム株式会社* 所在地 大阪府守口市 主要な事業の内容 電気設備工事業	KYODO TECHNO MYANMAR CO., LTD. 所在地 ミャンマー連邦共和国 主要な事業の内容 建設資材製造販売業
PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING* 所在地 インドネシア共和国 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。



ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況

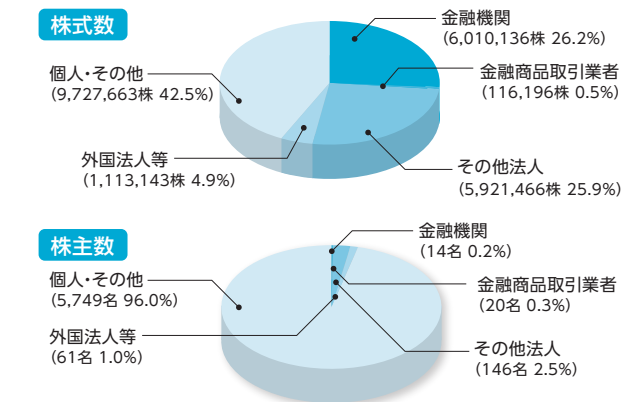
発行済株式の総数 22,888,604株
当中間期末現在の株主総数 5,990名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
テクノ菱和取引先持株会	2,244	10.1
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.4
株式会社三菱UFJ銀行	1,091	4.9
株式会社みずほ銀行	1,091	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	4.0
株式会社名古屋銀行	738	3.3
明治安田生命保険相互会社	734	3.3
株式会社京葉銀行	723	3.2
近重 次郎	672	3.0
テクノ菱和従業員持株会	663	2.9

※当社は、自己株式737,821株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株

公告掲載URL <https://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き
お問い合わせ先 【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】
●証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
●特別口座に記録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。
【未受領の配当金について】
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせ下さい。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<https://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL: 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

